

未来を考える 天気のこと

日時：令和4年8月6日（土）13:30～15:30

場所：かごしま環境未来館 2階多目的ホール

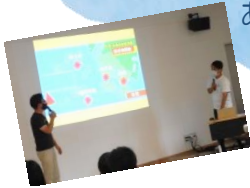
講師：渡司 陵太（日本気象予報士会鹿児島支部 気象予報士）

今村 聡（日本気象予報士会鹿児島支部 気象予報士）



日頃見ている天気予報について、クイズや実験で楽しく学びました。温暖化による変化を、すでに身の回りで起こっている例をあげながら解説してくださり、さらに温暖化が進まないようにする努力と、そのような変化に対応していく努力の大切さについて考えました。

2100年の天気予報では、
鹿児島の8月の最低気温が
30度を超える日があるかも！？



渡司 陵太さん

今村 聡さん

災害や異常気象は「いつか起きる」と普段から心構えをして、
●自分の命は自分で守ること
●みんなで助け合うこと
●天気予報をよく見て活用することが大切だよ！

受講された方の感想

- 全国に気象予報士が11251人もいるということを初めて知りました。とても勉強になりました。(小5)
- みんなが飲める水が一つぶとは知りませんでした。川の水があるのでたくさん飲めると思っていました。びっくりしました。(小3)
- ペットボトルの中にしょうどく液を入れて、空気を入れて、ふたを開けると雲ができると聞いてビックリしました。(小3)
- 地球温暖化や天気のことなどを知って、自分達でもできる対策をしようと思いました。(小6)
- 「未来のことについて知れてよかった」と思いました。準備をすることができるからです。(小4)
- しょうらいのゆめは気象予報士なので、いろんなことが分かったので、楽しかったし勉強になりました。(小6)
- みらいをかえようとおもいました。(小3)
- 地球温暖化にも対応していかないといけないと思いました。(小6)

